

INFORMATION

第39回日本看護科学学会学術集会

- ▶ 日程：11月30日(土)～12月1日(日)
- ▶ 会場：石川県立音楽堂、ANA クラウンプラザホテル金沢、ホテル金沢、もてなしドーム地下広場(すべて石川県金沢市)
- ▶ テーマ：ヒトと人間(ひと)の科学を看護へ——時空を超える我々を知り、看護学を別次元へ発展させよう
- ▶ プログラム：[1日目] 会長講演「ヒトと人間(ひと)の科学を看護へ」石垣和子(石川県立看護大学)／特別講演「知られざるヒトの適応機構の解明——フィールドワークからの挑戦(仮)」梅崎昌裕(東京大学大学院)／合同シンポジウムⅠ「適応と健康：現代社会における人間の健康とは？」安河内朗(日本生理人類学会)、樋口重和(九州大学大学院／日本生理人類学会)、石垣和子(石川県立看護大学)／教育講演Ⅰ「看護研究と実践・教育の環境づくり(仮)」Ardith Doorenbos(ワシントン大学)、真田弘美(東京大学大学院)／合同シンポジウムⅡ「時空を超える家族文化と看護」三部倫子(石川県立看護大学)、牟田和恵(大阪大学大学院)、法橋尚宏(神戸大学大学院／文化看護学会)、岩本大希(WyL 株式会社／ウィル訪問看護ステーション江戸川)／特別報告会「特定行為研修制度の現状」習田由美子(厚生労働省)／シンポジウム「環境の変化が人間の代謝機能に及ぼす影響と今後の食のあり方」奥村仙示(徳島大学大学院)、茅山加奈江(石川県国保団体連合会)、櫻井千佳(フリーランス栄養士、元ちゃんハウス理事)
- [2日目] パネルディスカッションⅠ「時空を超える高度看護実践能力」田村恵子(京都大学大学院)、春山早苗(自治医科大学)、島田珠美(川崎大師訪問看護ステーション)／対談「人間を理解することの限界と挑戦——現象学的視点からの他者理解を考える」平田オリザ(劇作家、大阪大学COデザインセンター)、西村ユミ(首都大学東京)／教育講演Ⅱ「がんゲノム新時代における看護の役割」村上好恵(東邦大学)／パネルディスカッションⅡ「ニューロサイエンスの現在・未来——ヒトと人間(ひと)の科学の看護における融合(仮)」大久保暢子(聖路加国際大学大学院)、才藤栄一(藤田医科大学)、鎌倉やよい(日本赤十字豊田看護大学)
- ▶ 参加費：会員1万2000円、非会員1万4000円、学生3000円、懇親会7000円
- ▶ 問い合わせ先：運営事務局
〒920-0059 石川県金沢市示野町南45番地 株式会社ネクステージ内
TEL：076-216-7000
FAX：076-216-7100
E-mail：jans39@nex-tage.com
<http://www.jans2019.jp/>

「わざ」はいかに学べるか——学校教育と看護教育の場から

- ▶ 日程：[東京大会] 11月9日(土)～10日(日)、[神戸大会] 11月16日(土)～17日(日)
- ▶ 会場：[東京大会] 早稲田大学早稲田キャンパス(東京都新宿区)、[神戸大会] 甲南大学平生記念セミナーハウス(兵庫県神戸市)
- ▶ プログラム：第1部 口頭発表「わざ」を考える」／「教師教育とわざ」／「看護教育とわざ」
第2部 ワークショップ「看護のわざをいかに教えるか——反省的な看護とは」Dr. Bulman, C., Dr. Schutz, S.(ともにオックスフォード・ブルックス大学健康・生命科学部看護学科)／「学校におけるリーダーシップを育てるコーチング」Dr. Robertson, J.(元ロンドン大学LCLLディレクター)／「デジタル教科書の活用と教科のわざ」川瀬徹、小松剛(ともに東京書籍)
- 第3部 シンポジウム「授業と看護における「わざ」を考える——「わざ」はいかに教えられるか」
[東京大会] Dr. Robertson, J.(元ロンドン大学)、Dr. Bulman, C.(オックスフォード・ブルックス大学)、Mis. McPetric, T.(カリフォルニア州立大学)、浅田匡(早稲田大学)、田村由美(日本赤十字看護大学)、中村駿(早稲田大学)、[神戸大会] Dr. Robertson, J.(元ロンドン大学)、Dr. Schutz, S.(オックスフォード・ブルックス大学)、Ms. Tipawan, A.(パナヤピヤット経営大学)、前川幸子(甲南女子大学)、浅田匡(早稲田大学)、白濱郁子(甲南女子大学大学院)
- ※通訳あり
- ▶ 参加費：無料、懇親会5000円
- ▶ 申込方法：下記 Web ページの申込フォームより
- ▶ 問い合わせ先：事務局
E-mail：wazaconference2019@gmail.com
<https://asadalabmembers.wixsite.com/wazaconference>